

主日礼拝

2020年8月23日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「もはや、ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。」 (ガラテヤ3:28)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ちち子せいれいのひとりの主よ、さかえとち
からはた一だ主に あれ一、と一こしえまで一。
アーメン。

リタニー 2020年8・6 判入者平和の祈り 「とりなしの祈り」

司式者：わたしたちは自然と人間、真理の創り主である神に祈ります。

一 同：神よ、わたしたちの声を聞いてください。

司式者：それは、個人の間、または国家の間でなされた、すべての戦争と暴力の犠牲者たちの声だからです。

一 同：神よ、わたしたちの声を聞いてください。

司式者：それは人々が武器と戦争に信頼をおくと、一番に犠牲者として苦しみ、また苦しむであろうすべての子どもたちの声だからです。

一 同：神よ、わたしたちの声を聞いてください。

司式者：わたしたちは、主がすべての人間の心の中に、平和の知恵と正義の力と喜びを注いでくださるよう、祈ります。

一 同：神よ、わたしたちの声を聞いてください。

司式者：わたしたちはすべての国、またすべての時代において戦争を望まず、常に喜んで平和の道を歩む無数の人々にかわって、話しているからです。

一 同：神よ、わたしたちの声を聞いてください。

司式者：わたしたちがいつも憎しみには愛、不正には正義への全き献身、貧困には自分を分かち合い、戦争には平和をもってこたえることができるよう、英知と勇気をお与えください。

一 同：神よ、わたしたちの声を聞いてください。そして、この世にあなたの終わりなき平和をお与えください。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来させたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出されたまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

聖書 コリントの信徒への手紙 I 3:1~9

新約(新共同訳) P302

兄弟たち、わたしはあなたがたには、霊の人に対するように語る事ができず、肉の人、つまり、キリストとの関係では乳飲み子である人々に対するように語りました。わたしはあなたがたに乳を飲ませて、固い食物は与えませんでした。まだ固い物を口にすることができなかったからです。いや、今でもできません。相変わらず肉の人だからです。お互いの間にねたみや争いが絶えない以上、あなたがたは肉の人であり、ただの人として歩んでいる、ということになりはしませんか。ある人が「わたしはパウロにつく」と言い、他の人が「わたしはアポロに」などと言っているとすれば、あなたがたは、ただの人にすぎないではありませんか。アポロとは何者か。また、パウロとは何者か。この二人は、あなたがたを信仰に導くためにそれぞれ主がお与えになった分に應じて仕えた者です。わたし

は植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。植える者と水を注ぐ者とは一つですが、それぞれが働きに応じて自分の報酬を受け取ることとなります。わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物なのです。

賛美 566 「むくいを望まで」

Cast thy bread upon the waters
詞：Phoebe A. Hanaford, 1829-?

OFFERINGS
曲：作曲者不詳

むくいをのぞまで - ひとにあたえよ、
こは主のとうとき - みむねならずや、
みずのえにおちて - ながれしたねも -
いずこのきしにか - おいたつものを。

1. むくいを望まで 人に与えよ、
こは主のとうとき みむねならずや、
水の上に落ちて 流れしたねも、
いずこの岸にか 生いたつものを。
2. 浅きころもて ことをはからず、
みむねのまにまに ひたすら励め。
風に折られしと 見えし若木の
おもわぬ木陰に 人をも宿さん。

説教 「成長させてくださる神」

賛美 393 「こころを一つに」

Herz und Herz vereint zusammen
詞：Nikolaus L. von Zinzendorf, 1700-1760

HERZ UND HERZ VEREINT ZUSAMMEN
曲：Bamberg, 1732

1 こころをひとつにへい わをもとめ、
2 めぐみの子たちよ、まじわりふかめ、
3 主はわれらのためくるしみをうけ、
4 わかたれたたみがひとつにされる

主を あいする あいあか るくもやそう。
▶ あいとまこととをたが いにちかおう。
そのとものため いのちをすてた。
▶ その日 ぐるのをわれらはのぞもう。

主はぶどうのみき、われらそのえだ。
▶ われらのきずながよわまるときも、
われらもたがいにまことのあいを
▶ 主のひかりをうけそのかがやきを

主はわれらのもの、われら主のもの。
▶ つよめてくださ い、主のあいにより。
きょうだいしまいととも にわけあおう。
▶ せかいにしめそう、主の でしとて。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 山野上 純子
説教 向井 希夫牧師
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。